

漁場環境監視等強化対策事業

吉田 賢二・川名 拓里

貝毒被害を防止するため、貝毒および貝毒原因プランクトンの発生を監視するとともに、貝毒発生に関する情報の収集・伝達を行った。

方 法

1. 貝毒原因プランクトンモニタリング調査

図1に示した調査定点（St.1,2）において、4月から翌年3月にかけて、毎月の定期調査を、4/10, 5/8, 6/6, 8/5, 9/3, 9/4, 10/3, 11/1, 12/2, 1/30, 2/28, 3/28 に実施した。

調査時には、採水バケツを用いて表層海水1Lを採水した。持ち帰った海水はメスシリンダーを用いて1L計量し、目合い20 μ mのプランクトンネットを用いて10mlに濃縮した。濃縮した検体は、貝毒原因プランクトン（麻痺性貝毒においては*Alexandrium*属および*Gymnodinium*属、下痢性貝毒においては*Dinophysis*属）を対象に、光学顕微鏡を用いた形態観察により同定し、細胞数を計数した。なお、調査結果は速やかに漁協および関係機関へ通知した。

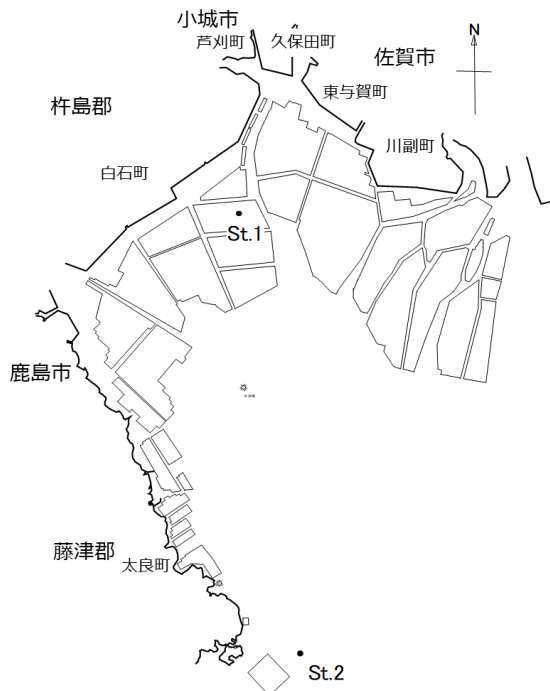


図1 貝毒発生監視調査定点

2. 貝毒モニタリング調査

佐賀県貝毒対策実施要領に基づき、シカメガキ、スミノエガキ、アサリを対象にした HPLC 法による麻痺性貝毒調査を行った。12 月は白石町地先のシカメガキを、1,2 月は白石町地先のスミノエガキを、3 月は白石町地先のスミノエガキと糸岐地先のアサリを各月 1 回実施した。なお、調査結果は速やかに漁協および関係機関へ通知した。

- ・分析部位：可食部
- ・分析方法：HPLC 法（日本水産資源保護協会編「麻痺性貝毒 HPLC 分析法」）
- ・分析機器：超高速液体クロマトグラフ分析装置
日本ウォーターズ株式会社（イオンペアー溶液用ポンプ：Quaternary Solvent Manager, 反応液・中和液用ポンプ：Reagent Manager, 反応槽：Post Column Reaction Module, 蛍光検出器：FLR Detector）

結 果

1. 貝毒原因プランクトンモニタリング調査

貝毒原因プランクトンの出現状況を表1～5に示す。期間中に確認された貝毒原因プランクトンは麻痺性貝毒原因種の *Alexandrium* 属と下痢性貝毒原因種の *Dinophysis* 属（4種）であった。*Alexandrium* 属は10月に St.1 で確認され、細胞密度は 40cells/L であった（表1）。*Dinophysis acuminata* は10～3月に確認され、細胞密度は10～480cells/L であった（表2）。*Dinophysis caudata* は4月,6月,9～12月に確認され、細胞密度は10～60cells/L であった（表3）。*Dinophysis fortii* は11月,2月に確認され、細胞密度は 10～2,360cells/L であった（表4）。*Dinophysis rotundata* は3月に確認され、細胞密度は 10～80cells/L であった（表5）。

2. 貝毒モニタリング調査

貝毒モニタリング調査結果を表6に示す。分析した二枚貝の麻痺性貝毒は、いずれの地点、月においても佐賀県貝毒対策実施要領による注意体制基準値（2.0 MU/g）

未満であった。

令和6年度の本海域における調査期間中の貝毒の発生
件数は0件であった。

表1 *Alexandrium* spp. の出現状況 (単位: cells/L)

st. No.	地点名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	福富干拓地先	0	0	0	－	0	0	40	0	0	0	0	0
2	竹崎島地先	0	0	0	－	0	0	0	0	0	0	0	0

表2 *Dinophysis acuminata* の出現状況 (単位: cells/L)

st. No.	地点名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	福富干拓地先	0	0	0	－	0	0	90	40	340	110	480	80
2	竹崎島地先	0	0	0	－	0	0	60	0	120	0	10	0

表3 *Dinophysis caudate* の出現状況 (単位: cells/L)

st. No.	地点名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	福富干拓地先	10	0	10	－	0	12	20	60	40	0	0	0
2	竹崎島地先	0	0	20	－	0	0	40	30	40	0	0	0

表4 *Dinophysis fortii* の出現状況 (単位: cells/L)

st. No.	地点名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	福富干拓地先	0	0	0	－	0	0	0	2,360	0	0	0	0
2	竹崎島地先	0	0	0	－	0	0	0	20	0	0	10	0

表5 *Dinophysis rotundata* の出現状況 (単位: cells/L)

st. No.	地点名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	福富干拓地先	0	0	0	－	0	0	0	0	0	0	0	10
2	竹崎島地先	0	0	0	－	0	0	0	0	0	0	0	80

表6 麻痺性貝毒モニタリング結果

調査内容	採取海域	貝の種類	採取月日	麻痺性貝毒量(MU/g) (HPLC法)
定期調査(12月)	白石地先	シカメガキ	12月2日	<2.0
定期調査(1月)	白石地先	スミノエガキ	1月6日	<2.0
定期調査(2月)	白石地先	スミノエガキ	2月7日	<2.0
定期調査(3月)	糸岐地先	アサリ	3月1日	<2.0
	白石地先	スミノエガキ	3月3日	<2.0